

学校教育目標	学び合い ひびき合い 高め合い ともに生きる子 中丸の子 ○進んで学ぶ子……生きてはたらく確かな学びの力を育てます。(知) ○よさを伸ばす子……規律と思いやりのある子を育てます。(徳) ○たくましい子……健やかな体と豊かな感性を育てます。(体) ○共に生きる子……結び合うコミュニケーション力を育てます。(公・開)					
	学校概要	創立 49 周年	学校長 吉田りえ	副校長 石井淳慈	2 学期制	一般学級: 13 個別支援学級: 3
児童生徒数: 429 人		主な関係校: 六角橋中学校				

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	六角橋中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
○コミュニケーション力の育成 ○地域貢献・社会参画できる力の育成 ○自己肯定感の育成	六角橋中学校 神橋小学校 斎藤分小学校 中丸小学校	夢や希望、目標をもてる子どもを育成する。 ・「百分づくり教育」を教科横断的に実施 ・合同授業研究会を年に2回開催 ・人権教育推進協議会などの合同の研修会を開催 ・学地連などの児童生徒指導に関わる事業を実施 ・児童生徒交流会などの小中連携事業を実施

中期取組目標	○「子どもたちが、自分の育ちを実感できる学校」の実現に向かって、全職員で次の目標に取り組みます。 ・子どもたち一人ひとりのよさを理解し、心を通い合わせながら、安心して過ごせる学校生活づくり、居場所づくりを進めます。 ・子どもが意欲をもって学習活動に取り組み、学び方を身に付け、「できた」「わかった」という成就感を味わえる授業をします。 ・子ども同士のつながりを深める学級活動、異年齢集団活動、児童会活動を工夫して行い、よりよい人間関係を築きます。 ・中学校ブロックや家庭・地域・関係機関との連携を深め、社会の要請や信頼に応える教職員集団を目指します。 ・効率的な学校運営を実現するために、人材育成、組織運営の改善、業務改善、働き方改革を実行します。
--------	---

重点取組分野	具体的取組
<b>確かな学力</b> 担当 学習指導部	カリキュラムマネジメントをより充実させ、授業改善に結び付ける。新学指導要領完全実施を受け、各教科等および各学年のカリキュラムを完成する。昨年度に続き、本校の「ぐるぐる」を意図した重点研究を行い、最新の情報に基づいた学習展開を追求する。家庭と連携して学習習慣の定着を図る。
<b>豊かな心</b> 担当 道徳部・たてわり委	本校の特色であるたてわり活動には、同学年・異学年の交流、ふれあいの場として効果があることは、児童の意欲からよく分かる。リーダー意識、コミュニケーション能力、自己表現力などを高めることを求めたい。道徳にも重点を置き、豊かな心を育てることにつなげたい。
<b>健やかな体</b> 担当 体育部・特活部	様々な体育的プロジェクトを年間を通して配置し運動能力を高めたい。地域の総合型スポーツクラブには本校児童も多数所属しており、指導者とも連携を図り、内容の充実を図りたい。体を動かす事が好きな子どもたちである。自ら生活習慣の改善、健康増進の意識を高める取組も進めたい。
<b>児童指導</b> 担当 児童指導委員会	組織だった対応は必要不可欠である。児童支援専任が交代するので引継ぎをしっかりとしたい。これまでも専任を中心に様々な事案を解決の方向に導いている。若年層教員がベテラン教職員から児童指導のあるべき姿を学び、対応できる力量アップを図りたい。
<b>特別支援教育</b> 担当 児童指導委員会	学校では特別な支援の対応が増えている。一般級にも特別な支援が必要な児童が少なくない。多岐に渡る要望をする保護者、様々なヘルプを示す子どもたち。特別支援にかかわる内容は膨大なものになっている。研修と実際の取組を通して、教職員の特別支援に関する知識と能力を高めたい。
<b>安全教育</b> 担当 安全指導部	中丸小学校と言えば、安全教育推進校であることが定着している。取り組んできた安全・防災などの活動ひとつひとつが、大きな財産である。学習の中にも安全教育に関することが多く取り入れられている。隣接の消防出張所をはじめ、関連諸機関との連携で、安全教育の内容をさらに充実したい。
<b>新しい重点研究</b> 担当 重点研推進委	昨年度、本校ならではの「ぐるぐる」が完成した。六角橋中ブロック1中3小では9年間で育てる子ども像として「夢や希望、目標をもてる子どもを育成する」と共有している。創立50周年が近付き、この地域で育てる子どもを重点研究を通して求めていきたい。
<b>地域連携・学校運営協議会</b> 担当 校長・副校長・教務	創立50周年の記念事業が具体化する。その立ち上げを確実なものとしたい。地域は学校に対して高い関心をもち、よい関係が続いている。それだけ周年行事に対する期待も大きい。3年目を迎える中学校ブロックでの学校運営協議会がますます機能するよう協同して努力していきたい。
<b>いじめへの対応</b> 担当 児童指導委員会	いじめの未然防止のために「いじめ防止基本方針」に基づき専任を中心とした組織的対応を進める。児童の状況把握を行い、いじめを生まない集団づくりの指導を計画的に行う。常時、保護者や関係機関との情報交換をして、連携を推進する。教職員研修も継続的に進めていくようにする。
<b>人材育成・組織運営(働き方改革)</b> 担当 校長・副校長・教務・事務	今回は教員の異動がなかった。だが、同じメンバーで同じことをしているのでは組織の発展はない。そこで、組織のリーダー、構成メンバーを大幅に刷新した。引継ぎを確実にし、また、前任者がバックアップすることで、組織強化と人材育成をしたい。業務改善や労務管理を実行し、働き方改革を具体的に推進する。